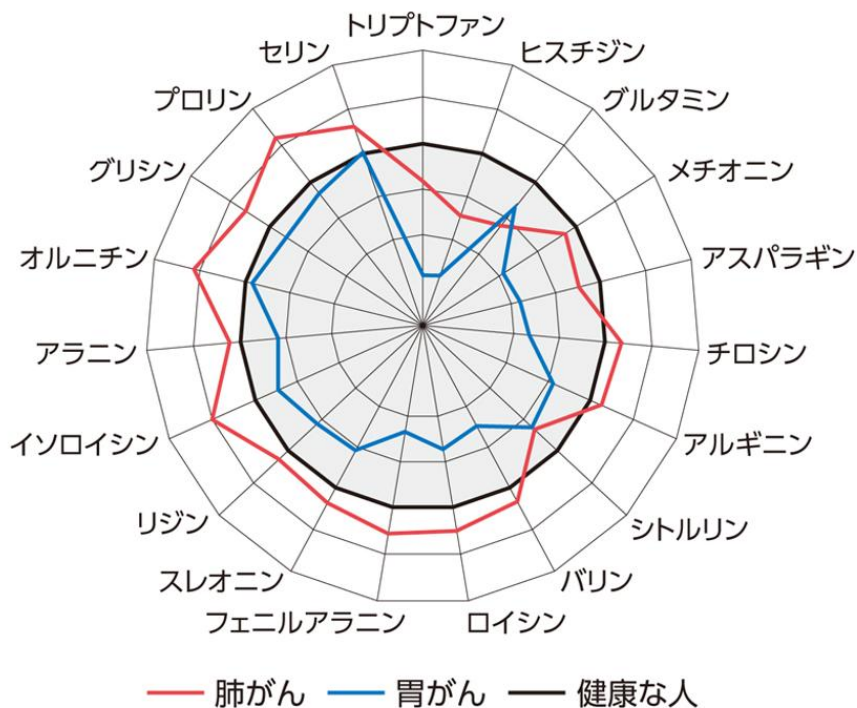


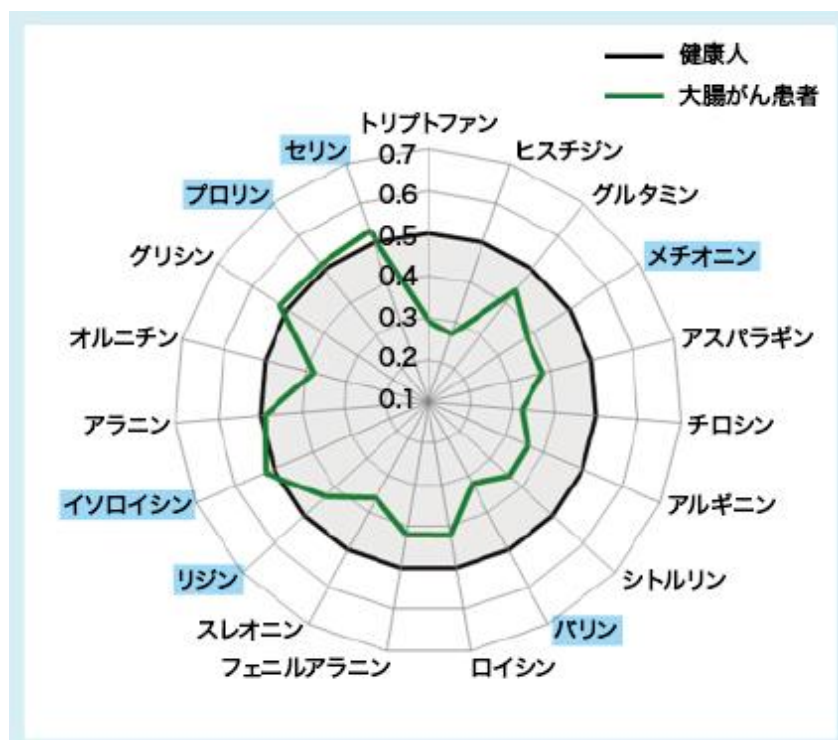
アミノインデックスによる大腸がんのスクリーニングについて

アミノインデックスがんスクリーニング (AICS) は、血中のアミノ酸濃度を測定し、濃度バランスを解析することでがんのリスクを評価する検査法です。



3段階のランク分けでがんのリスクを評価

AICS は血漿中のアミノ酸ががん患者のアミノ酸のパターンにどの程度近いかを示すもの。0.0~10.0の値を取るAICS値を算出し、0.0~4.9をランクA、5.0~7.9をランクB、8.0~10.0をランクCとランク分けします。がんである確率が高いほどAICSは高値を示します。



ランク A、B には通常のがん検診の継続が、
C には精密検査、すなわち**大腸内視鏡検査**が
勧められます。精密検査で陽性であれば治療
を行い、陰性の場合は経過観察となります。

AICS 検査結果分布(男性)⁹⁾

項目		0.0 5.0 8.0 10.0		
		ランク A	ランク B	ランク C
AICS(胃)	がん患者	33%	23%	44%
	健康人	86%	11%	3%
AICS(肺)	がん患者	27%	27%	46%
	健康人	81%	14%	5%
AICS(大腸)	がん患者	39%	18%	43%
	健康人	80%	14%	6%
AICS(前立腺)	がん患者	36%	32%	32%
	健康人	80%	15%	5%

AICS 検査結果分布(女性)⁹⁾¹¹⁾

項目		0.0 5.0 8.0 10.0		
		ランク A	ランク B	ランク C
AICS(胃)	がん患者	8%	26%	66%
	健康人	70%	22%	8%
AICS(肺)	がん患者	25%	32%	43%
	健康人	79%	16%	5%
AICS(大腸)	がん患者	42%	19%	39%
	健康人	80%	17%	3%
AICS(乳腺)	がん患者	53%	27%	20%
	健康人	80%	15%	5%
AICS(子宮・卵巣) [※]	がん患者	20%	22%	58%
	健康人	80%	15%	5%

味の素アミノインデックス aics.pdf より引用

アミノインデックスと大腸内視鏡検査は、
当院で施行できます。



----- 補 足 -----

6 検査の対象者について

AICS[®]は、下記年齢の日本人（妊娠されている方を除く）を対象として開発された検査です。これらの方以外の AICS 値は評価対象外となります。

対象がん	対象年齢
胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25歳～90歳
前立腺がん	40歳～90歳
子宮がん・卵巣がん	20歳～80歳

* 上記の対象年齢以外の方が受診された場合でも検査結果は報告されますが、AICS 値やランク判定結果は評価対象外となります。

* 一部のがん種についてのみが対象年齢外になる場合、そのがん種は評価対象外となりますので、ご理解いただいた上でご受診ください。

なお、以下に該当する方は、AICS 値に影響がありますので検査は受けられません。

- | | |
|-----------------|------------|
| ・妊娠されている方 | ・先天性代謝異常の方 |
| ・授乳中の方 | ・透析患者の方 |
| ・がん患者（治療中を含む）の方 | |

[味の素アミノインデックス aics.pdf](#) より引用

7 AICS[®]の結果に影響を与える可能性がある病気について

現在下記の病気にかかっている方は、AICS 値に影響を与える可能性があります、検査の対象外とするものではありません。

AICS[®]を受診することによって、がんを発見できる機会となると同時に、下記の病気による影響で、がんではないのに AICS 値が高くなりうることをご理解いただいた上で、ご受診ください。

現在までに各種 AICS[®]の結果に影響を与える可能性がある分かっている病気

- ・ AICS (肺) : 慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、肺結核、肺気腫、無気肺
- ・ AICS (前立腺) : 前立腺肥大、糖尿病
- ・ AICS (子宮・卵巣) : 子宮筋腫、子宮内膜症、良性卵巣腫瘍
- ・ 複数の AICS[®] : 脳梗塞



[味の素アミノインデックス aics.pdf より引用](#)